

通常総会議事録

京都木材協同組合

招 集 年 月 日 令和 5 年 4 月 26 日
開 催 日 時 令和 5 年 5 月 24 日
開 催 場 所 ウェスティン都ホテル京都 稔の間
総 組 合 員 数 137 名
出席した組合員数 124 名(本人出席 27 名、委任状出席 97 名)
議事録を作成した理事 坂 口 明 子

議事の経過の要領及び議案別議決の結果

定刻に至り堀井誠司は、司会者となり組合員総数及び出席者数を報告、定足数を満たしており本総会の成立を宣す。

まず開会にあたり、議長選任について議場に諮ったところ、司会者一任と決まり、司会者から辻井毅を議長に選任することについて提案全員異議なく賛成した。

よって、議長は挨拶を行ない議事に入る

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告及び決算関係書類承認の件

議長は、中小企業等協同組合法第 40 条第 8 項に基づき、堀井誠史より事業報告、洪水浩巳より決算関係書類と剰余金処分案を、小畑育男より監査報告書を提出並びに説明させ、議場にその承認を求めたところ全員異議なく賛成、可決決定した。

第 2 号議案 令和 5 年度事業計画及び収支予算決定の件

議長は、堀井誠史より事業計画案を、洪水浩巳より収支予算案をそれぞれ説明させた後、これを議場に諮ったところ全員異議なく賛成、可決決定した。

第 3 号議案 賦課金並びに特別賦課金及び出資金決定の件

議長は、堀井誠史より賦課金の額及び出資金の額を説明させ、議場に諮ったところ全員異議なく賛成、次のとおり可決決定した。

賦課金の額 一般賦課金 36,000 円 特別賦課金 50,000 円 出資金 50,000 円

第 4 号議案 組合借入金最高限度額の決定の件

議長は、堀井誠史より最高限度を 3 億円とする旨の説明をさせ、議場に諮ったところ
全員異議なく賛成、可決決定した。

第 5 号議案 賛助会員規約制定の件

議長は、堀井誠史より本組合の定款第 50 条の規定により設置する、賛助会員制度の運
営等について必要な事項を定め、議場に諮ったところ全員異議なく賛成、可決決定した。

第 6 号議案 任期満了に伴う理事及び監事選任の件

議長は、役員(理事・監事)全員が通常総会終結日をもって任期満了となるので、改選
する必要がある旨を述べ、その選考方法を諮ったところ「指名推選」との発言があり、
出席者全員異議なく賛成、同意が得られた。

よって議長は、選考委員の選任方法及び人数を諮ったところ「議長一任」との発言が
あり、全員賛成したので議長は次の選考委員を指名した。

出竿吉嗣 奥田辰雄 玉井庸久 浅岡秀哉

続いて、選考委員会が開催され選考委員長から次の各氏が推薦された。

理 事

堀井誠二 辻井毅 藤田剛士 谷口吉昭 中村憲夫 青木康一郎 浅岡秀哉
石山淳一 奥田辰雄 小畑隆正 洪水浩巳 國松隆夫 國松保之 齋藤行則
坂口明子 笹原明雄 清水弘一 玉井庸久 辻井重 出竿吉嗣 早川武伸 森
田茂実 山口展稔 若山清史

監 事

小畑育男 幸前清孝

以上の推薦に基づいて議長は、これらの被指名人を役員と決定するかどうかを
諮ったところ全員異議なく賛成、可決決定した。

なお、全役員は令和 5 年 5 月 24 日付けで就任を承諾した。

議長は、本総会の審議を終了した旨を告げ午後 5 時半に閉会を宣す。

本総会の議事の審議要領及びその結果を明確ならしめるため、議事録作成理事は本議事録を作成し、次に記名押印す。

平成 5 年 5 月 24 日

議事録作成理事 坂 口 明 子

議 長	辻 井 毅
出 席 理 事	堀 井 誠 二
〃	藤 田 剛 士
〃	谷 口 吉 昭
〃	中 村 憲 夫
〃	浅 岡 秀 哉
〃	奥 田 辰 雄
〃	笹 原 明 雄
〃	小 畑 隆 正
〃	坂 口 明 子
〃	洪 水 浩 巳
〃	清 水 弘 一
〃	玉 井 庸 久
〃	國 松 隆 夫
〃	出 竿 吉 嗣
〃	早 川 武 伸
〃	森 田 茂 実
〃	國 松 保 之
〃	齋 藤 行 則